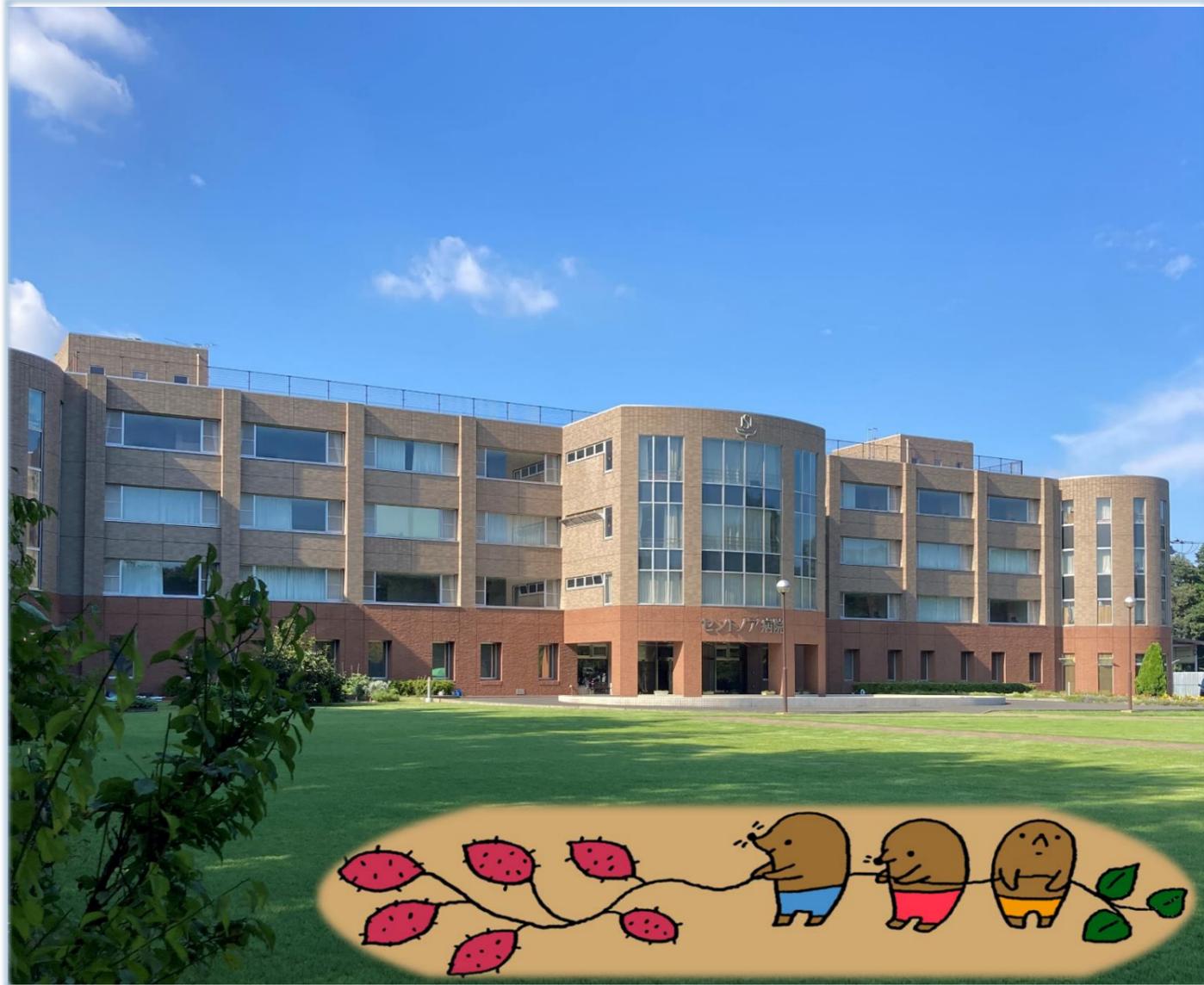




ノアの爽かぜ風



～目次～

- 病院短信『寄り添う』 笹野 友美
- 介護だより 堀越 しのぶ
- 作業療法科だより 末村 亜弓
- 日常の一コマ 水村 夏代
- 今月のナナ『足のお手入れ』

10月の予定

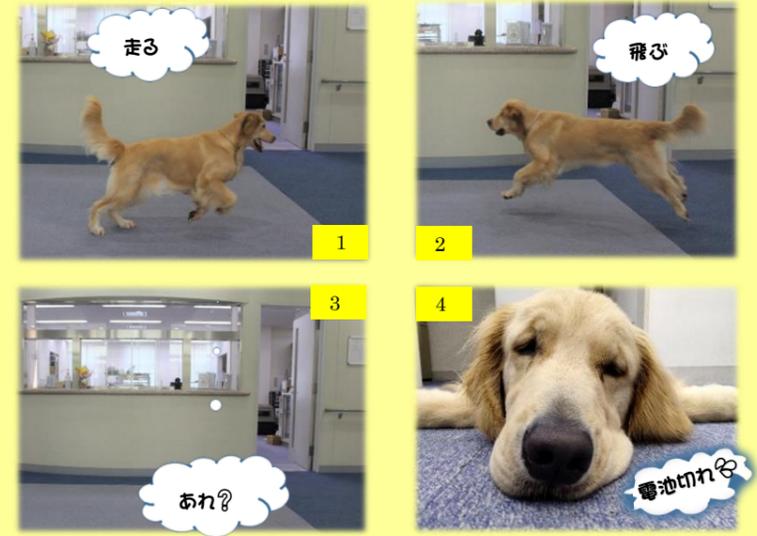
- ◆誕生日会 各病棟にて
- 1病棟: 4日(水) 14:30～
 - 2病棟: 5日(木) 14:00～
 - 3病棟: 6日(金) 14:00～



今月のナナ

ナナはいつでも元気
いっぱいです(*^▽^*)

でも、すぐ電池切れ
になります💡



病院短信

1病棟師長
笹野 友美

『寄り添う』

少しずつ日暮れの時間が早くなり、秋の気配を感じ朝晩はだいぶ過ごしやすいく感じられるようになりました。

6月より2病棟から1病棟へ異動となり4か月が過ぎました。



病棟によって、それぞれの雰囲気や患者さんの状態、認知度も様々でそれぞれの良さを感じる毎日です。10年間2病棟で働かせていただき、10年ぶりの異動で様々な不安もありましたが、また新たな気持ちで働かせていただくことができ、良い機会になったと感じています。異動してから一番大変だったのは、患者さんの名前を覚えることと状態を把握することでした。時間はかかりましたが、スタッフからの情報や日々の申し送り、時間がある時は患者さんとの関わりを多く取るよう心掛け、少しずつ状態の把握もできてきました。様々な患者さんとの出会いの中で、知る楽しみや病棟の取り組み、やり方考え方も知る事ができ、良い刺激になっています。

今まで多くの患者さん、ご家族様と出会い・別れを繰り返して、その中で「寄り添う」という言葉を大切にしてきました。患者さんのあるがままの状態を受け入れ、それぞれの状態に適したケアを行い、心情を理解しその辛さを少しでも軽減する手助けができたらと日々思いながら接するようになっています。症状や病気の進行度によって不安や悲しみ、怒り・諦観など様々な感情を抱えていることへ、少しでも寄り添い、声掛けし、話すことも難しい患者さんでも日々の変化に気づけるように情報を共有し、スタッフと共に話し合い、今の状態にはどうすれば良いか意見交換しながら、今後もスタッフと共に考え寄り添って行きたいと思えます。



日常のーコマ

今月は正（まさし）さん（78歳）のーコマです。正さんは熊本県の果物農家に生まれ、5人兄妹の5番目です。高校卒業後は自衛隊に入隊しましたが1年で退職。その後上京し22歳の時にご結婚され、ずっと奥様と夫婦水入らずで暮らしていました。とにかく仕事一筋で愛妻家の正さんは会社の旅行には必ず夫婦で参加して、奥様の話では外国を40か国以上訪問して沢山の楽しい思い出があるとおっしゃっていました。また、姪御さんは夫婦仲良く理想的な夫婦だと語ってくれました。

平成30年頃より怒りやすく（易怒性）抑うつ（気分の変化）があり、奥様を些細なことで怒鳴るなど認知症と思われる症状が出はじめ病院を受診し治療をすることになりました。

令和3年頃になると近所の選挙ポスターをはがしたり、近所の家を表札に執着するようになり、散歩に出ると表札をじっと見て回るようになり、奥様も対応に困ってしまい、最初は精神科に入院されました。その後は入退院を繰り返し、介護サービスを利用して過ごしていましたが、認知機能の低下により、自宅での生活が難しくなり、令和5年2月、当院に入院されました。

入院後はやはり紙類がとても気に入り、色々なものを破いたり収集したりしています。正さんに尋ねると、奥様の名前や旅行に行った地名を書きたいとのことでした。そして書いた紙をトイレに流してしまうこともあり、スタッフは声掛けをしますが、あまり距離を縮めると「うるさい!」となってしまうので、程よい距離感でケアをしています。いつもは表情があまり無く、笑顔を見せない正さんですが、面会に来た奥様を見つけると、面会簿を書いている奥様の肩にポンと手を置き、「わっ!」と驚かせます。その時の笑顔はとても優しく、素敵です。奥様がお帰りになる時は必ず「愛してるよ」と言う愛妻家の正さんは健在です。最近歩行が不安定になる時が増えてきたので、いつまでもしっかり歩行できるようスタッフ一同見守っていきたくと思います。



2病棟 介護主任 水村 夏代

作業療法科だより

作業療法士 末村 亜弓

暑さも少しずつやわらいで、当院の周辺でも元気にトンボが飛び回る季節となりました。院内でも秋の準備が始まっています。今回は創作活動の様子をご紹介します！共同作業で折り紙を使って菊の絵を作りました。

一斉に作業開始！みんなで役割分担をして一つの絵を完成させていきます。『これはこうやったほうがいいわよ。』『ハサミを貸してくれてありがとう。』『すごい！きれいに出来てるね。』などと自然に譲り合いや褒め合いの言葉が行き交います。後片付けまでみんなで協力して頂きアッという間に机が綺麗に…！完成した作品はデイルームに飾りました！

次は食欲の秋に向けてイベント準備中です！



介護だより

2病棟 介護福祉士 堀越 しのぶ

入職して早くも1年が経ちました。この1年は1日1日が日々濃く充実した1年であったと感じます。現場では皆さん日々多忙の中業務をこなしており、それに私も毎日刺激を受けております。そんな私ですが、休日は家で映画やドラマの鑑賞をするのが趣味です。主人公に自分を重ねてみたり、その気持ちに寄り添ってみたりすることで自分の価値観や世界観を広げてくれたりと良い息抜きであり勉強にもなっています。認知症患者さんの対応の1つで大事な相手の気持ちを理解し受け入れるという面ではそこでの経験がとても役に立っています。これからも患者さんの気持ちに寄り添っていけるそんな職員でありたいと思います。